

ISSN 1349-4163

Journal of Higher Education Vol.23, 2026

大学教育

第 23 号

2026

山口大学 教育・学生支援機構

大 学 教 育

第 23 号

目 次

論 文

1. 地方国立大学における県外高校出身者の大学進路選択
—山口大学入学者追跡データの分析より—
林 寛子 1
2. 大学生生活リズム再構築を目的とした「朝活」プログラムの成果と課題
樋口 尚子 佐々木 眞穂 山本 直樹 14

報 告

3. 社会人基礎力の測定に関する研究と大学1年生の社会人基礎力の修得状況
—理学部, 工学部, 農学部, 共同獣医学部の1年生によるデータ分析—
辻 多聞 24
4. 拡張する大学教員の専門性
—大学事務職員からキャリアチェンジした教員の自己認識の観点から—
坂本 規孝 藤本 正己 33
5. 山口県立大学生の二酸化炭素排出量
藤原 勇 今村 主税 40
6. 大学教員の担う学生支援の実態
—クラス担任及びゼミ・研究指導教員が行う学生支援に着目して—
藤本 正己 杉田 郁代 山本 啓一
坂本 智香 45
7. 令和7年度化学物質安全推進室の活動報告
—化学物質リスクアセスメント結果公表—
藤原 勇 近藤 圭 鬼村 謙二郎
森本 宏志 船本 大起 米本 智美 51
8. 障害学生修学支援に係る新規相談時期と学年進行の関連性
—山口大学の事例から—
櫻井 凜 岡田 菜穂子 柳下 雅子
松尾 理佳 田中 美穂 田中 亜矢巳 58

9. 教職協働で築く教学マネジメントの基盤

—山口大学教学マネジメント室 2022 年度から 2025 年度の歩み—

岩野	摩耶	藤本	正己	林	寛子	
大谷	いつ子	渡邊	早苗	野崎	浩二	64

投稿規定

70

2025 年度『大学教育』投稿規程

1. 本誌は、大学教育改善の立場から、高等教育に対し実践的あるいは理論的アプローチをすることを目的とした山口大学教育・学生支援機構（以下「機構」という。）のジャーナルであり、電子ジャーナルとして刊行・公開する。
2. 本誌は、主として機構を構成するセンター等における教育・学生支援に関連する「論文」、「報告」（資料、実践報告、業務報告）で構成する。「論文」は8頁以上20頁以内、「報告」は20頁以内とする。

「論文」：査読有

大学教育に係る実証性、論理性、独創性のある学術的に有意義な考察と、明確な結果を備えたもの。

「報告」：査読無

「資料」「実践報告」「業務報告」を指す。掲載時に、「資料」「実践報告」「業務報告」の別は記載せず、「報告」として掲載する。

「資料」：論文には至らないが、今後の展開が期待されるもの。または、既存の知見を補強する事例やデータが提示され、まとめられたもの。

「実践報告」：実践で試みた事柄の方法とその結果を整理し、読者と共有することを目的に報告したもの。実践の結果をまとめたものであり、普遍性を追求する形にはならないもの。

「業務報告」：日々の業務の記録。
3. 原稿の執筆にあたっては、倫理的な要請を満たしているか著者全員で十分に確認を行うこと。
 - ・研究参加者による研究協力への同意
 - ・研究参加者に対するプライバシーの保護（匿名性の保証）
 - ・捏造、改ざん、盗用、著作権の侵害などの無いこと
 - ・未発表のものであること
 - ・二重投稿の無いこと
 - ・不適切、差別的な用語や表現の無いこと など
4. 使用言語は日本語もしくは英語とする。母語以外の言語で執筆した場合、ネイティブ・スピーカー等の校閲を受けること。
5. 投稿者は、本学の教職員（退職者・非常勤を含む）（以下「本学の教職員」という。）及び大学教育編集委員会（以下「委員会」という。）が認めた者とする。
6. 本学の教職員以外の者が主たる執筆者の場合、本学の教職員が責任執筆者として責任をもつことによって本学の教職員以外の者が筆頭執筆者となることができる。責任執筆者には原稿の名前の右上に*（アスタリスク）をつけること。

7. 同一執筆者（共著の筆頭執筆者を含む）により投稿される原稿（「論文」「報告」）は、各号につき 2 編までとする。共著で筆頭執筆者以外については、制限は定めない。
8. 編集委員会は、「論文」については審査、「報告」については確認を行い、採否及び区分や掲載の順序を決定する。「論文」については、各原稿に原則として 2 名のレフェリーを選定し、レフェリーの査読結果を参考にして、審査を行う。レフェリーには著者名を伏して査読を依頼する。
9. 査読の結果について、投稿者からの異議申立ては認めない。
10. 投稿原稿の執筆に当たっては、別に定める『大学教育』スタイルガイドに従うこととする。従っていない原稿に関しては受理しないことがある。また図表の挿入に関しては、段組み設定を変更するなどして見やすく編集すること。
11. 原稿の提出期間は「論文」は令和 7 年 10 月 1 日～10 月 15 日、「報告」は令和 8 年 1 月 5 日～1 月 26 日とする。
12. 投稿原稿は、学生支援部教育支援課総務係に電子ファイル（Word と PDF）で提出し、投稿票を用いて邦文タイトル他、英文タイトル等を提出する。論文として掲載を希望する場合は、提出する原稿は所属、著者名などの記載部分を空白にし、さらに、著者の特定につながる引用文献、参考文献の著者名を＊に変更した上で提出すること。
13. 原稿の校正は、著者の責任において行う。
14. 掲載された論文等の著作権は著者に帰属するものとする。ただし、委員会は、掲載された論文等を、機構もしくは機構が委託する機関において、電子化公開する権利を有するものとする。
15. 上記以外の事項は、必要に応じて、著者と相談の上、委員会が適宜処理する。

Journal of Higher Education

Vol.23, 2026

Analyzing University Choice by Examining the Regional Migration of Non-Local Students at Regional National Universities

HAYASHI, Hiroko

[page.1-13]

Rebuilding Daily Rhythms through a “Morning Activity” Program and Its Impact on Student Adjustment. to University Life

HIGUCHI,Naoko ; SASAKI,Maho ;YAMAMOTO,Naoki

[page.14-23]

A Study on the Measurement of Fundamental Competencies for Working Persons and Competency Levels among First-Year University Students

～An Analysis of Data from Students in the Faculties of Science, Engineering, Agriculture, and Joint Faculty of Veterinary Medicine～

TSUJI, Tamon

[page.24-32]

The Expansion of Faculty Expertise: Insights from the Self-Perceptions of Faculty Who Transitioned from University Administration

SAKAMOTO,Noritaka; FUJIMOTO,Masami

[page.33-39]

Carbon Dioxide Emissions of Yamaguchi Prefectural University Students

FUJIWARA,Isamu; IMAMURA, Chikara

[page.40-44]

Practices of Faculty-Provided Student Support: Focusing on Class Advisors and Seminar/Research Supervisors

FUJIMOTO,Masami; SUGITA, Ikuyo; YAMAMOTO, Keiichi ; SAKAMOTO, Chika

[page.45-50]

The 2025 Chemical Safety Promotion Office Activity Report

- Chemical Substance Risk Assessment Results -

FUJIWARA,Isamu;KONDO,Kei;ONIMURA,Kenjiro;MORIMOTO,Hiroshi;

FUNAMOTO,Daiki;KOMEMOTO,Tomomi

[page.51-57]

Connections between New Consultations of Students With Disabilities and the Academic Year - A Case Report from Yamaguchi University

SAKURAI,Rin;OKADA,Nahoko;YANAGISHITA,Masako;MATSUO,Rika;TANAKA,Miho;

TANAKA,Ayami

[page.58-63]

**Building a Foundation for Academic Management through Faculty-Staff Collaboration
—The Progress of Yamaguchi University's Office for Teaching and Learning Management
from 2022 to 2025—**

IWANO,Maya;Masami FUJIMOTO,Masami;HAYASHI,Hiroko; OTANI Itsuko;
WATANABE,Sanae; NOZAKI,Koji

[page.64-69]

「大学教育」編集委員会

委員長 和 泉 研 二 (アドミッションセンター長)

副委員長 林 寛 子 (アドミッションセンター 准教授)

委 員 藤 本 正 己 (教学マネジメント室 講師)

〃 Kira Adams (教育支援センター 講師)

〃 岡 田 菜穂子 (学生支援センター 准教授)

〃 平 尾 元 彦 (キャリアセンター 教授)

〃 樋 口 尚 子 (健康科学センター 助教)

〃 中 野 祥 子 (留学生センター 講師)

表 紙 題 字 国立大学法人山口大学 元学長 丸 本 卓 哉

大学教育 第23号 ISSN 1349-4163

2026 年 3 月発行

編 集 : 『大学教育』編集委員会

発 行 : 山口大学教育・学生支援機構

お問い合わせ : 学生支援部教育支援課総務係

住 所 : 〒753-8511 山口市吉田 1677-1

電 話 : 083-933-5062

F A X : 083-933-5225

E - m a i l : ga104@yamaguchi-u.ac.jp

U R L : <http://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~dkikou/index.html>
